

ICMからのレポート in 2019年下半期

谷口初美

ICM Western Pacific 代表／

九州大学大学院医学研究院保健学部門

看護学分野（助産学・母性看護学）

台風19号でお亡くなりになられた方々に対してお悔やみ申し上げますとともに、被災に合われた皆様の早々の快復を心からお祈りいたします。

ICMは8月下旬から、来年のYear of Midwife 2020(助産師の年2020)のイベント、ICM3年大会に向けての役員改選の準備、今期最後のアフリカ地域会議、その他の国際会議に向けて慌ただしく事業が展開している。そのため、理事会も毎月電子会議を開催している状況である。8月からのICM会長からの報告と、ICM事務局からのNews Letterから主な点をお知らせする。

来年のICMバリ大会の抄録の査読の最終査定が8月の下旬にあり、SPPC(学術専門委員会)の委員と厳選に実施された。9月5-6日: Franka会長は、財務担当スウェーデン出身の理事とスウェーデン助産師会主催のSRHR (Sexual Reproductive Health and Rights)、スウェーデン国際開発庁(SIDA)に出席。ICMの会長による訪問は、スウェーデンが助産師の世界的な活動において、更なる重要な役割を果たす良い機会となったようだ。9月7日-8日: チリ助産師会の185周年記念に出席した。チリは、長い助産師会の歴史とその幅広い実践、政治的ロビー活動、そして社会に対して積極的なイメージで知られている。9月11日-14日: アフリカ地域会議がナミビアで開催され、若手リーダー指導者プログラムや分娩期のRespectful ケア、必修助産ケアに関するワークショップが開催され300人以上の参加者で盛会に終了した。そして、性と生殖に関わる母と子と青年の健康へのコミットメント声明が作成され、この声明は11月に開催されるIDPD (世界人口開発会議) 25ナイロビで報告されることになった。

9月の国連総会出席には、本年度は6月のバンクーバーで開催されたWomen Deliverを優先したため、予算の関係で会長は出席できなかった。しかし、Women in Global とJHPIEGOの補助金獲得で南北アメリカの2名の理事が参加しプレゼンする機会を得た。Franka会長の依頼の講演等が増えてきており、9月25日は英国のRoyal College of Midwives(RCM)の年次大会では「国際基準の教育を受けた助産師のケアを継続的に受けられるようになると、女性は適切なタイミングで適切なケアを受けることができるエビデンス」を強調した。助産師会が主催するイベントへのビデオメッセージの依頼は多く、アルゼンチン、チリ、クロアチア、フィンランド、インドがあり、低コストで簡易であるために、呼びかけている。

来年の ICM3 年大会に向けての役員改選応募締め切り

2020 年 1 月 27 日 : ICM 評議会委員、ICM への意見書提案、ICM 地域理事、
2026 年 ICM3 年大会の開催地の応募

2020 年 3 月 31 日 : 評議会オブザーバー



Franka 会長の Royal College of Midwives (RCM) の年次大会での特別講演



ナミビアで開催されたアフリカ地域会議